

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 両毛システムズ

コード番号 9691 URL <http://www.rvomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 力

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部部長

(氏名) 上山 和則

TEL 0277-53-3131

四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,978	5.3	409	231.5	421	205.7	115	192.7
25年3月期第2四半期	4,726	4.5	123	—	137	—	39	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 127百万円 (471.8%) 25年3月期第2四半期 22百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	33.08	—
25年3月期第2四半期	11.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,792	6,122	62.5
25年3月期	9,688	6,061	62.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,122百万円 25年3月期 6,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.8	480	161.5	490	136.5	180	169.7	51.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	3,510,000 株	25年3月期	3,510,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	11,035 株	25年3月期	11,035 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	3,498,965 株	25年3月期2Q	3,498,965 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、非製造業を中心とした設備投資の持ち直しの動きや大企業を中心とした企業収益に改善がみられる等、海外景気の下振れが引続き我が国の景気を下押しするリスクがあるものの、景気は緩やかに回復しつつあると見受けられるようになりました。

情報サービス産業におきましては、景気の緩やかな回復を受けて民間市場のソフトウェア投資では一部回復の動きは見られるものの、自治体市場においては一般競争入札の浸透により導入価格は引き続き低下傾向で推移しており、市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社および連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野および民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は4,978百万円（前年同期比5.3%増加）、営業利益は409百万円（前年同期比231.5%増加）、経常利益は421百万円（前年同期比205.7%増加）、四半期純利益は115百万円（前年同期比192.7%増加）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの一部を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### （公共事業セグメント）

公共事業セグメントでは、受託計算サービスは引き続き減少傾向にあります。システムリプレースやソフトウェアプロダクト販売、機器販売が好調に推移いたしました。特に、ソフトウェアプロダクト販売が主に第3四半期から第2四半期に前倒して売上計上となりました。その結果、売上高は2,532百万円（前年同期比2.4%増加）、セグメント利益は273百万円（前年同期比197.5%増加）となりました。

#### （社会・産業事業セグメント）

社会・産業事業セグメントでは、ガス事業者向け基幹パッケージシステム「G I O S（ジーオス）」や組込ビジネスが好調に推移いたしました。印刷業向けパッケージシステム「P r i n T a c t（プリンタクト）」も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,445百万円（前年同期比8.5%増加）、セグメント利益は475百万円（前年同期比29.0%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態に関する分析

##### （流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円の減少となりました。これは主に、売掛金の回収により得た資金を設備投資や借入金の返済に充てた事等によるものであります。

##### （固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円の増加となりました。これは主に、設備投資が増加した事等によるものであります。

##### （流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円の増加となりました。これは主に、買掛金が増加した事等によるものであります。

##### （固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,282百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円の減少となりました。これは主に、1年内に返済予定の長期借入金を流動負債に振替えた事等によるものであります。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益が115百万円となった事により利益剰余金が増加した事等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ765百万円増加し1,671百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等の減少要因がありましたが、売上債権の回収等の増加要因により1,272百万円（前年同期は106百万円）の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による有形固定資産の取得及び開発投資による無形固定資産の取得等により303百万円（前年同期は2百万円）の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により203百万円（前年同期は75百万円）の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月28日発表の「平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせのとおりです。

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	710,903	755,462
受取手形及び売掛金	2,539,390	1,548,669
リース投資資産	1,046,567	1,035,187
有価証券	—	500,000
たな卸資産	276,171	686,147
その他	1,478,309	1,501,690
貸倒引当金	△352	△249
流動資産合計	6,050,988	6,026,907
固定資産		
有形固定資産	937,068	990,308
無形固定資産		
ソフトウェア	812,026	901,404
ソフトウェア仮勘定	109,106	12,428
その他	264,480	304,943
無形固定資産合計	1,185,614	1,218,775
投資その他の資産	1,515,137	1,556,073
固定資産合計	3,637,820	3,765,157
資産合計	9,688,809	9,792,065
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	408,228	504,867
短期借入金	381,600	381,600
未払法人税等	39,520	133,180
賞与引当金	401,208	400,106
受注損失引当金	74,402	55,029
その他	884,684	912,202
流動負債合計	2,189,644	2,386,986
固定負債		
長期借入金	532,200	391,400
その他	905,950	890,693
固定負債合計	1,438,150	1,282,093
負債合計	3,627,795	3,669,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,585,359	1,687,138
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	5,997,396	6,099,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,512	23,810
その他の包括利益累計額合計	16,512	23,810
少数株主持分	47,104	—
純資産合計	6,061,013	6,122,985
負債純資産合計	9,688,809	9,792,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,726,600	4,978,313
売上原価	3,915,330	3,831,658
売上総利益	811,269	1,146,654
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	332,695	322,741
賞与引当金繰入額	50,407	58,349
その他	304,599	355,910
販売費及び一般管理費合計	687,702	737,001
営業利益	123,567	409,653
営業外収益		
受取利息	2,876	3,467
受取配当金	5,030	3,029
受取賃貸料	4,722	4,724
転リース差益	7,429	8,741
その他	5,801	3,276
営業外収益合計	25,860	23,239
営業外費用		
支払利息	5,907	6,217
賃貸収入原価	1,376	1,358
その他	4,204	3,604
営業外費用合計	11,488	11,180
経常利益	137,939	421,712
特別利益		
固定資産売却益	109	—
投資有価証券売却益	714	—
負ののれん発生益	—	4,704
特別利益合計	823	4,704
特別損失		
固定資産売却損	28	—
固定資産除却損	35	7,134
開発中止損失	—	172,131
投資有価証券評価損	1,296	—
特別損失合計	1,360	179,265
税金等調整前四半期純利益	137,401	247,151
法人税等	94,769	126,923
少数株主損益調整前四半期純利益	42,632	120,228
少数株主利益	3,089	4,495
四半期純利益	39,542	115,733

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42,632	120,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,330	7,298
その他の包括利益合計	△20,330	7,298
四半期包括利益	22,301	127,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,212	123,031
少数株主に係る四半期包括利益	3,089	4,495



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	137,401	247,151
減価償却費	78,522	73,890
無形固定資産償却費	156,870	205,644
負ののれん発生益	—	△4,704
開発中止損失	—	172,131
前払年金費用の増減額 (△は増加)	26,606	△41,448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,607	△1,101
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△24,493	△19,373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△302	△103
受取利息及び受取配当金	△7,906	△6,496
投資有価証券売却損益 (△は益)	△714	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,296	—
支払利息	5,907	6,217
為替差損益 (△は益)	107	627
固定資産売却損益 (△は益)	△80	—
固定資産除却損	35	7,134
売上債権の増減額 (△は増加)	412,978	945,319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△286,806	△409,976
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△44,087	67,074
仕入債務の増減額 (△は減少)	△295,503	126,216
未払費用の増減額 (△は減少)	△13,439	540
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△54,900	△17,652
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	13,545	△49,293
小計	110,644	1,301,797
利息及び配当金の受取額	9,100	6,522
利息の支払額	△5,772	△5,992
法人税等の支払額	△7,396	△29,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,576	1,272,735
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	190,000
有価証券の売却による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△64,118	△45,930
投資有価証券の売却による収入	833	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	878	7,366
有形固定資産の取得による支出	△49,128	△113,916
無形固定資産の取得による支出	△91,118	△171,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,654	△303,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△45,400	△140,800
リース債務の返済による支出	△29,989	△47,625
配当金の支払額	—	△13,910
少数株主への配当金の支払額	—	△1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,389	△203,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,533	765,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,038,715	906,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,067,248	1,671,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,472,458	2,254,141	4,726,600	—	4,726,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,472,458	2,254,141	4,726,600	—	4,726,600
セグメント利益	91,801	368,282	460,084	△336,517	123,567

(注) 1 セグメント利益の調整額△336,517千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△87,896千円及び全社費用△248,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,532,676	2,445,636	4,978,313	—	4,978,313
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,532,676	2,445,636	4,978,313	—	4,978,313
セグメント利益	273,124	475,161	748,286	△338,633	409,653

(注) 1 セグメント利益の調整額△338,633千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△60,174千円及び全社費用△278,458千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「社会・産業事業」に含めておりました文教事業を「公共事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。